

慢性腎臓病の重症化予防を

答 新規の慢性腎臓病を防止、予防する



問 慢性腎臓病（CKD）の重症化予防を。南風原町CKDプロジェクトが果たす役割を伺う。

町長 これまで慢性腎臓病の重症化予防に係る取組は、町職員（保健師と管理栄養士）の専門的知見によって保健指導・栄養指導が行われていた。令和3年度に琉球大学病院の腎臓専門医をアドバイザーに迎え、高度な専門的知見を活用する南風原町CKDプロジェクトを開始、本プロジェクトが本町の医療費の適正化に果たす役割は大きい。

問 近年の本町の医療費の傾向はどのような状況か伺う。

また同プロジェクトの効果はどのような影響を与えるか。

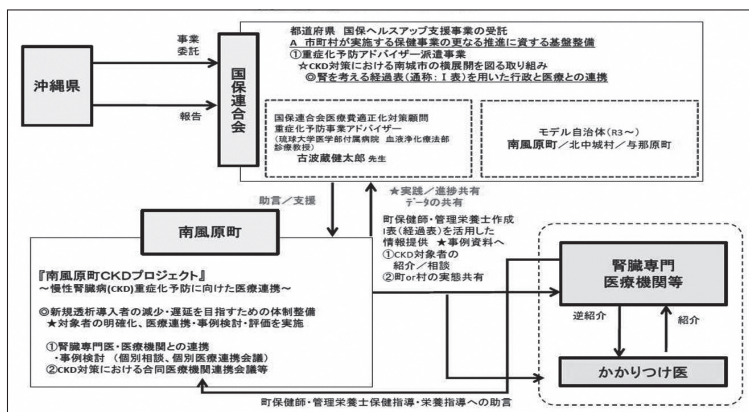
町長 本町国民健康保険は被保険者数が減少しているが、近年の医療費は横ばいの傾向、同プロジェクトは新規透析者の減少及び開始の遅延を目指しており、医療費適正化の観点から重要である。

問 これまでの実績として重症化予防や医療費の抑制につながった事例があれば伺う。

町長 腎機能が低下し、透析用の血管を手術で造設した方へ、栄養指導を実施したこと、約3年間の透析遅延に至った事例が数件あり、医療費適正化に効果があった。



石垣 大志 議員



問 令和3年度にCKDプロジェクトを開始することによって、琉球大学病院腎臓専門医のアドバイザーが入った。伺いたいのは、アドバイザーとしての腎臓専門医が具体的にどんな役割を果たして、どういった介入が行われているのか伺う。

町長 平成20年の特定健診開始時期から特定健診の結果を用いて慢性腎臓病の防止等に努めていた。保健師、管理栄養士の専門的知見、研修等を通し町民に説明していたが、令和3年度からは高度な専門知識を有する琉大病院の医師をアドバイザーとして招いて、他市町村の事例もご存じであり、幅広い知識を活用し、保健指導、栄養指導に活用している。

- 一こんな質問もしました
- 北丘ハイイツ内土砂災害対策について
 - 南風原小学校体育館の雨漏りについて